



平成 29 年 10 月 2 日

各 位

会 社 名 株式会社レッド・プラネット・ジャパン
代表者名 代表取締役社長 ティモシー・ハンシング
(JASDAQ コード : 3350)
問合せ先 取締役 CFO 王生 貴久
電話番号 050-5835-0966

(開示事項の経過)

**Red Planet Hotels Pasong Tamo Corporation に対する貸付金の一部返済
並びに営業外収益の発生に関するお知らせ**

当社が、平成 27 年 1 月 23 日付「Red Planet Hotels Pasong Tamo Corporation の第三者割当増資引受による株式取得及び資金の貸付のお知らせ」及び平成 29 年 1 月 31 日付「(開示事項の経過) Red Planet Hotels Pasong Tamo Corporation の第三者割当増資引受による株式取得及び資金の貸付のお知らせ」で開示いたしました Red Planet Hotels Pasong Tamo Corporation (以下「SPC」といいます。) に対する貸付金につきまして、平成 29 年 9 月 30 日付で、その一部につき返済を受けました。

この結果、当社は、平成 29 年 12 月期第 3 四半期において、下記のとおり営業外収益を計上する見込みとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 営業外収益の内容

SPC に対する貸付金 450 百万円につきましては、平成 27 年 9 月期決算の過程で、当社親会社である Red Planet Holdings Pte. Ltd. (以下、「RPH 社」といいます。) の追加保証を付け、また、平成 29 年 6 月以降は Red Planet Hotels Limited (以下、「RPHL 社」といいます。) も含めて回収に向けた交渉を進めてまいりました。

その結果、当社は、平成 29 年 9 月 30 日付で RPHL 社より 173 百万円の返済を受けました。当貸付金については、平成 27 年 9 月期にその全額を貸倒引当計上しているため、平成 29 年 12 月期第 3 四半期において貸倒引当金戻入額 173 百万円を営業外収益に計上する見込みとなりました。

2. 今後の見通し

貸付金の残額及び利息につきましては、引き続き、SPC、RPH 社、RPHL 社と回収に向けた交渉を進めてまいります。

また、平成 29 年 12 月期の業績予想への影響につきましては、他の要因も含め精査中であり、業績予想の修正が必要と判断される場合には改めて開示いたします。

以 上